

1. 直播栽培の雑草の課題

- (1) 苗立ち・初期生育が劣る場合は、一発処理剤が使用できません。(薬害のリスク)
- (2) ヒエの発生量と生育スピードが速く、手遅れ水田になりやすい傾向です。(散布時期の遅れ)
- (3) 落水期間が長期化した場合、畑の雑草(スズメノカタビラ等)も多発します。



Point

雑草の発生は水田によって異なります。草種と発生量に応じた除草剤の選択が、コスト低減につながります。



2. 自ら発生予測を実施 (簡易予測法の手順)

生育初期の雑草の判定は、大変難しいことです。この予測方法は、除草剤散布時期までに実物を、直に確認することができます。必ず実行してください。

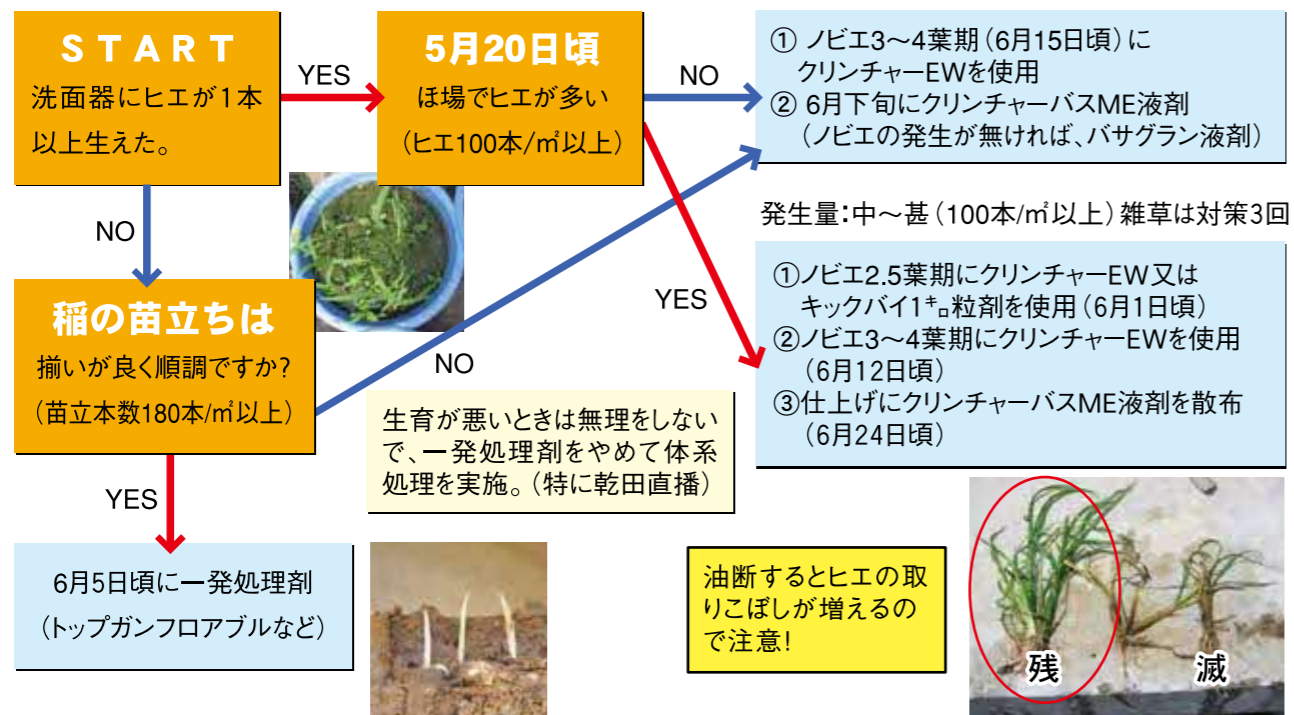
- 洗面器 8 分目程度の土を水田 3 ~ 5 カ所から採取。
- 洗面器に手で代掻きをし、育苗ハウスに設置。
- 乾かないように、水を時折補給する。
- 約45日目から、草の形質がはっきりする。(判定)



判定

3. 発生予測方法から対策を立てる

ヒエを中心に対策を組み立てよう!



雑草対策の基本は、雑草の種子を落とさないことです。多量の種子を落とされた(草を残してしまった)場合、そのほ場は翌年は、移植栽培か畑作物に切り替えることとしましょう。

1. 基本

- (1) 基本的には移植と同様に、水管理、病虫害防除を行ってください。
- (2) 茎数が多く、葉色が濃い場合は、倒伏やいもち病の発生に注意が必要です。
- (3) 倒伏が心配される場合は、出穂前に倒伏防止剤を散布しましょう!
- (4) 収穫の目安は出穂からの積算気温で約1,000度です。

2. 収穫間近の注意点



なびきは特に問題はない。



左は倒伏した。整粒歩合が8%程度低下した。



成熟に向かう様子。



この状態で大地の星は刈ってはいけない! 枝梗が青い。



刈って良い状態。穂先の枝梗が枯れ始めるまで待とう。



穂揃い良好。このようになるには、苗立ち確保が大切。



苗立ちが悪い場合は、このようになる。追肥で穂数は確保できたが、穂揃いは悪い状態。